

[訂正告知]

『日本医史学雑誌』第67巻第1号の目次および125頁において下記の誤りがございましたので、訂正いたしますとともにお詫び申し上げます。

(誤) 小川徳雄・永坂鉄夫 著

(正) 小川徳雄・永坂鉄夫 著

編集後記

前回編集後記を担当したのは2020年3月発行の66巻第1号でした。新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況について触れたのが、本誌におけるCOVID-19に関する最初の記述だったと記憶しています。当時は未曾有の事態だと社会全体に不安が広がる一方で、やがて収まって元の生活に戻れるだろうという楽観的な期待もありました。それから1年半が過ぎ、未だ新型コロナウイルス感染症は収まっておらず、第5波が到来しています。2世紀にアントニヌスの疫病の猛威を目の当たりにしたガレノスが「終わりがあってくれればいいのだが」と彼にしては珍しく弱気な気持ちを表明したのと同じような状況が訪れていると感じざるを得ません。

編集委員の交代に伴い、私が編集に関わるのは今号が最後となります。先日鬼籍に入られた文学部時代の恩師に勧められて医史学会に入会し、2005年からは編集に関わるようになって判型変更、査読体制の強化、電子データの公開などの変化に立ち会ってきました。今後は一読者の立場に戻りますが、充実した紙面であり続けることを願っています。

(澤井 直)